

目指す学校像

生徒を勇気づけ励まし、学力、体力、徳力を伸ばし、一人一人の自己実現・進路実現を図るとともに、社会の一員としての役割を果たさせるため、日々、学校の教育活動の水準向上を目指す。

目指す学校像	1	向上進取の精神と高い志を育てる。
	2	学校行事や部活動・委員会活動を通じて社会性と健全な心身を育てる。
	3	人権尊重の精神を理解し、地域の方々から愛され、困難にも挫けることなく前向きに人生を歩める生徒を育てる。

2 中期的目標と方策

「向上進取の精神と高い志の涵養」「名門復活」

中期目標	1	高い志の育成	
	2	国公立大や難関私立大に合格できる学力の養成	
	3	規範意識と公共心の育成	
	4	真の自主性と自律性の育成	
方策	1	学力向上推進プランに基づき、学力の向上と定着を図る。	学習指導・進路指導
	2	読書環境の向上に努め、書評合戦をはじめ、読書活動の一層の充実を図る。	学習指導・進路指導
	3	キャリア教育指導計画に基づき、第一志望校進学を実現させる。	学習指導・進路指導
	4	公共心と健康で安全な生活に必要な能力と態度を育てる。	生活指導、特別活動・部活動
	5	知力、体力、徳力の向上を図り、社会人としての実践的な態度を養う。	生活指導
	6	部活動を一層充実させ、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。	特別活動・部活動
	7	地域への貢献を通して、集団や社会の一員として、自主的、実践的な態度を育てる。	体力の向上・健康の増進
	8	防災に関する正しい知識を身に付けさせ、共助の精神を醸成する。	防災教育・安全教育
	9	教育活動を積極的に広報するとともに、近隣中学校や地域へ情報を発信する。	募集・広報活動
	10	教科会の組織的運営を推進し、指導教諭等を活用して授業力の向上を図る。	
	11	経営企画室の機能を高め、計画的・効率的な予算の編成・管理・執行を行う。	学校経営・組織体制
	12	主幹教諭、主任教諭による計画的なOJTを推進する。	

3 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

学習指導 進路指導	1	国公立大や難関私立大を意識した各教科の指導目標を設定し、具体的な学習方法を明示して、組織的・効果的な指導を行う。英語教育推進校として、4技能習得に努め、検定試験等を活用して習熟の度合いをはかる。
	2	進学指導研究校として、進路指導部主導による組織的な模試分析会や進路検討会（ケース会議）を更に推進し、全教職員による共通認識のもと、より効果的な生徒への還元を努め、一段高い生徒の進路実現を図る。
	3	土曜日を含む学期中及び長期休業日中の補習・講習を各分掌・教科・学年が連携し、計画的・組織的に実施する。
	4	言語能力の向上を図るため、読書活動を一層推進するとともに英語検定等各教科に関連する検定受験を推進する。
	5	普通科高校における特別支援教育の推進を図ることにより、個別指導計画等に基づく指導・支援を充実させる。
	6	各分掌、各教科の横断的かつ有機的な取組を通して、学校組織全体でキャリア教育を推進していく。
	7	ボランティアマインドの育成等、全教育活動を通してオリンピック・パラリンピック教育を推進していく。
生活指導	1	時間遵守の指導、挨拶の励行の徹底、頭髮の染色、化粧品や装飾品等をさせない指導等、基本的生活習慣を確立する。
	2	授業規律をはじめとした学校生活のルール・マナーを遵守させるため、生活指導を全校体制で行う。
	3	いじめや体罰は絶対にさせない見過ごさない校内体制を構築し、生徒や保護者が安心・安全な学校生活を保障する。
特別活動 部活動	1	部活動を奨励し、第1学年において全員が部活動に所属し、積極的に活動する指導体制を構築する。
	2	学校行事や委員会活動を充実させ、社会性や帰属意識の育成を図るとともに学校内外に貢献する姿勢を醸成する。
防災教育 安全教育	1	災害から自らの命を守るために必要な「自助」の能力を身に付けさせ、社会貢献など「共助」の精神を育成する。
	2	学校安全計画年間指導計画に基づき、登下校時の交通安全と災害等に対応した安全指導を推進する。
体力の向上 健康の増進	1	体育授業、部活動、学校行事等あらゆる機会を捉えて、体力及び運動能力の向上を全校で取組む。
	2	東京都体力テストの結果を踏まえ、普段運動をする習慣のない生徒に、効率的に運動量を確保する取組を推進する。
	3	歯・口の健康づくり研修会など、健康づくりを推進するため、口腔衛生に関する指導を重点的に継続して取組む。

募集広報活動	1	ホームページの学校紹介分野を充実させる。学校から地域・保護者等への最新の情報発信に努める。
	2	本校を第一志望校として目指してもらえよう、部活動等の広報や、中学校との連携事業を推進する。
学校経営組織体制	1	教科主任を設置し、教科内における学習指導を組織的、効率的に実施する。
	2	各種会議や委員会を定期的に開催し、課題解決を図る。
	3	教師、生徒における暴力行為や暴言、すべての体罰の根絶を図る。
	4	スクールカウンセラーとの連絡会を随時実施し、問題の共有化による課題解決を図る。
	5	家庭、地域と連携し、相互協力のもと健全育成を図る。
	6	経営企画室の業務進行管理を機能的に行い、都民の信頼に応える。

## (2) 重点目標と方策

①	教科指導目標の策定と組織的な目標管理による教科会主導の国公立大や難関私立大を意識した教科指導を推進する。
②	全教職員（全教科）参加による組織的な模試分析会や進路検討会（ケース会議）を各学期1回以上実施する。
③	長期休業日中に進学対策及び学力向上のための講座を80以上、組織的に実施し、延べ3500名以上の受講者とする。
④	入学当初の大学進学希望を維持向上させ、現役合格者は、国公立大5名以上、難関私立大（早慶上理）5名以上、上位私立（GMARCH等）55名以上、日東駒専60名以上、センター試験受験者196名以上、大学進学率75%以上を目指す。
⑤	生活指導指針に基づく規範意識の育成では、身だしなみの指導を充実させ、高校生活にふさわしい服装とし、頭髪の染色、化粧を行わせない指導、不必要な装飾品を装着させない指導を行い、落ち着いて学習や部活動に取り組める環境を醸成する。儀式的行事では、標準服を着用させる。学年集会等の集団での行動を迅速且つ静粛・厳正に行い、はじめのある学校生活を構築する。
⑥	授業規律を遵守し、生徒の学習環境・学習習慣を整える。生徒が自ら学習する意欲を高め、自宅学習時間を第1学年90分以上、第2学年120分以上を確保するために、授業時間ごとの宿題の出題、小テストを継続して実施する。
⑦	遅刻者の防止に努める。遅刻防止キャンペーン、各学期の遅刻指導（複数回）を実施する。
⑧	登下校時における危険箇所の確認や自転車の運転マナーの向上を図り、自転車事故0（ゼロ）を目指す。交通安全、特に自転車を中心とした二輪車利用に関する交通安全教育を充実させるため、保護者や地域と連携し交通安全教室を開催する。
⑨	部活動加入率85%以上とし、関東大会、都大会への出場や、高文連のコンクール等への出場を実現する。また、第2学年においては「よさこいin府中」への参加を通し、地域貢献の心と集団や社会の一員として、自主的、実践的な態度を育てる。
⑩	より高次の自己実現や進路希望を実現していくため、各分掌、各教科の横断的かつ有機的な取組を通して、学校組織全体でキャリア教育を推進する。本校学力スタンダードを策定し、校内での統一指針に基づき指導内容・方法を見直すとともに、生徒が基準到達するまで学習指導を繰り返し行い、卒業まで必要な学力を確実に身に付けさせる。
⑪	募集対策強化を図り、全校体制で各種学校説明会に対応する（来校数2600組以上、HP更新100回以上）。
⑫	体育祭・合唱祭での参観保護者数、文化祭での一般来場者数を合計4000名以上とする。
⑬	授業や体育的行事及び部活動を通じて、生徒の体力向上を図り、生涯にわたって心身ともに健康な生活を送ろうとする態度を育成するため、東京都体力テストを実施し、保健体育科を中心として全校体制で体力、運動能力の向上を図る。
⑭	読書週間の年間3回実施や学年単位での書評合戦の実施により、読書活動を充実させ、言語能力向上を図る。
⑮	校内美化を常に心がけ、毎日の清掃活動の他、各学期2回以上の大掃除を全校体制で実施し、衛生的な学習環境を整える。
⑯	いじめや体罰、暴力行為の根絶のため、校内服務事故防止研修会を年間3回以上実施する。
⑰	年間防災教育活動計画に基づき、宿泊防災訓練を含め年4回の避難訓練を実施する。被災後の共助について、地域と連携した指導、訓練を行い、主体的行動力を身に付けさせるとともにリーダーの育成を図る。
⑱	スクールカウンセラーと教育相談制度を確立し、通常教育相談と併せ、特別支援教育の推進を図ることにより、個別指導計画等に基づく指導・支援を充実させ、定期的に調査等を行い、生徒の健康維持や心と体のケア、状況把握と対応、自殺防止に当たる。
⑲	ボランティアマインドや障害者理解、スポーツへの関心を高め、公共の精神、国際感覚等を学び、日本人としての自覚と誇りを身に付けさせ、全教育活動を通して2020東京オリンピック・パラリンピック及び大会後のレガシーを見据えた教育を推進する。
⑳	家庭と学校の連携を充実するため、保護者会の適時開催及び内容の充実、保護者出席数の増大を図る。また、学年通信等、各種配布物について、ホームページに随時公開し、家庭と学校での情報の共有化を図る。
㉑	個人情報の徹底管理を図るため、毎月クリーンデスクの日を定め、机上整理を確実にを行う。
㉒	各分掌等で年度当初の目標設定と毎月の進捗管理による組織力強化を図る。各種事務処理プランを活用し、経営企画室の業務進行管理を一層強固なものにする。ライフ・ワーク・バランス実現に向けて、各種会議の上限時間を設定する等、時間短縮、業務の効率化を図る。
㉓	生徒が安心して学業に専念できる学習環境を整備するため、仮設校舎での生活プランを検討する。

### 令和2年度の数値目標

		31年度 ←	30年度 ←	29年度	
①	国公立大現役合格者数	5名以上	2名 ←	3名 ←	4名
②	難関位私立大（早慶上理）現役合格者数	5名以上	3名 ←	0名 ←	2名
③	上位私立大（GMARCH等）現役合格者数	55名以上	50名 ←	37名 ←	39名
④	日東駒専現役合格者数	60名以上	56名 ←	57名 ←	57名
⑤	センター試験受験者数	196名以上	204名 ←	177名 ←	204名
⑥	平日の家庭学習時間（含予習・復習） 第1学年の平均	90分以上	50分 ←	60分 ←	65分
⑦	平日の家庭学習時間（含予習・復習） 第2学年の平均	120分以上	45分 ←	55分 ←	60分